

ジャパンサーチ（仮称）の構築・連携について

国立国会図書館 電子情報部

分野横断統合ポータル「ジャパンサーチ（仮称）」構築に向けた課題・要望

課 題

- 各分野・地域コミュニティの「つなぎ役」の明確化
- 「ジャパンサーチ（仮称）」構築に向けた協力体制の強化
- 多様な領域のメタデータ・サムネイルの流通促進
- オープンなデジタルコンテンツの拡充

【現状】

- 機能要件を固めるため、ジャパンサーチのプロトタイプを構築中
- プロトタイプとの連携データベース募集中！

この2つがジャパンサーチ成功のカギ

要 望

- 「つなぎ役」不在の分野に対して、体制作りを
- 分野を横断した、連携活動促進のための体制整備
- （美術館以外でも）サムネイル画像のネット公開



「つなぎ役」の明確化に向けて～求められる役割

※『我が国におけるデジタルアーカイブ推進の方向性』 p.21より

- (ア) 分野/地域の独自性を反映したポータルを整備・提供
- (イ) (分野/地域における、以下同) **メタデータの集約**、API提供
- (ウ) **メタデータの整備推進**
- (エ) メタデータの標準化、用語の統制 (辞書・典拠・シソーラス)
- (オ) デジタルコンテンツ等の二次利用条件の整備・**オープン化の推進**
- (カ) 所蔵資料/収蔵品等のデジタル化のための技術や法務上の業務支援
- (キ) コンテンツの長期保存・永続的アクセス保証 (データホスト) への協力
- (ク) **意識啓発**・人材育成
- (ケ) 活用促進のための取組

全ての役割を一機関で担う必要はない。関係機関間での分担、NPO、自治体、大学や企業等との連携も含めて調整を検討することが望ましい。

→ 各分野/地域内での役割の整理・分担の明確化が必要
(赤字が取り急ぎ、ジャパンサーチ(仮称)構築に必要な役割)

メタデータ集約に限らず、メタデータの標準化や、オープン化の推進、意識啓発といった部分で既に「つなぎ役」の役割を果たしている組織もあるのでは？

ジャパンサーチ（仮称）とメタデータを集約する役割を果たす「つなぎ役」は？

知財計画2017



書籍等分野：国立国会図書館



放送分野：放送番組センター、NHK



メディア芸術分野：文化庁、経済産業省



文化財分野：文化庁



その他の分野

公文書

自然科学

スポーツ

地域アーカイブ

大学・研究機関

など

※『知的財産推進計画2017』p.82より

書籍等分野については国立国会図書館、放送コンテンツについては放送番組センター（日本放送協会（NHK）と民放両方のコンテンツを取り扱う。）及びNHK（NHKのコンテンツを取り扱う。）、映画、ゲーム、アニメーションなどのメディア芸術分野は文化庁及び経済産業省、文化財については文化庁において、それぞれがつなぎ役として、収集対象の選定やメタデータ形式の標準化などのアーカイブ構築の方針の策定等、分野内のアーカイブ機関における収蔵資料のデジタル化への協力、メタデータの集約化を行う。

その他の分野について、メタデータ集約を行う「つなぎ役」はどのように明確化されていけばよいか？

ジャパンサーチ（仮称）の連携方針（案）について

- 分野・地域の「つなぎ役」を通じた連携を原則とする。
- ただし、「つなぎ」役未定の分野・地域は、次の条件に当てはまる場合、個別アーカイブ機関との連携も検討する。
 - ✓ 国の機関であり、当該分野におけるコンテンツを幅広くカバーしている機関・団体
(例) 国立博物館、国立美術館、国立科学博物館、国立公文書館等
 - ✓ 公共の目的のために、当該分野におけるコンテンツを幅広くカバーしている機関・団体
(例) 放送番組センター、NHK等
 - ✓ 唯一性・独自性の高いコンテンツ群を塊として扱う機関・団体、その他???

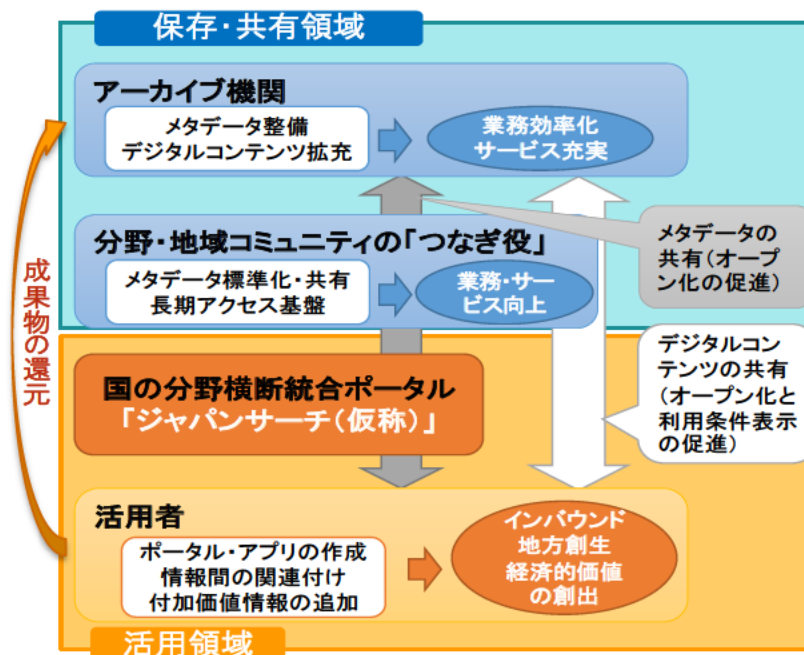


図 デジタルアーカイブの共有と利活用に向けて

- 直接連携すべき個別アーカイブ機関の基準は？
- 民間のアーカイブ機関との連携の基準は？

ジャパンサーチ（仮称）の連携機関に向けたお願い

多様な領域のメタデータ・サムネイルの流通促進
オープンなデジタルコンテンツの拡充

ジャパンサーチ成功のカギ

- ジャパンサーチ（仮称）との連携に向けて、メタデータ・サムネイルのオープン化の準備をお願いしたい。（最低限、ジャパンサーチ（仮称）での検索利用は可能にいただきたい。）
- プロトタイプで検討中の『キュレーションページ』『電子展示会』の作成にもご協力をお願いしたい。

キュレーションページ

- ・ ジャパンサーチの入口として、「検索機能」を使用しない場合でも見て楽しめるページ
- ・ 特定のテーマごとに、予め定義した検索結果等を表示し、コンテンツへの理解を促進する

テキスト、画像、検索結果、検索画面の組合せ



両方に対応可能なエディタ機能を用意

電子展示会

- ・ コンテンツに解説を付けて一つのまとまりとして公開できるページ
- ・ 画像はIIIFに変換して掲載
- ・ SNSで簡便に拡散可能な仕組みも用意

